

平成19年度 傾斜的研究費 (特定) (全学分) (戦略分・公募分) 研究報告書

研究費区分 (戦略分) ①都市形成に関わる研究 ②特徴ある教育プログラム開発をめざす研究
 (公募分) ①都市形成に関わる研究 ②特徴ある教育プログラム開発をめざす研究

研究代表者所属	都市環境科学研究科 観光科学	フリガナ	キクチトシオ 菊地俊夫	職	教授
研究分担者所属		研究分担者氏名		職	

研究課題名	自然環境の保全・保護とその適正利用の人材養成におけるレンジャー資格認定プログラムの調査・研究
研究実績の概要 (600~800字で記入。図、グラフ等は記載しないこと。)	
<p>本研究は自然環境の保全・保護と適正利用に関するプログラムを、さらに魅力と発展性のあるものにする1つの方向として、自然環境の保全・保護と適正利用に関するレンジャー資格認定プログラムの構築について調査研究した。内外における自然環境の保全・保護と適正利用に関する人材養成プログラムを検討した結果、自然科学的なプログラム(自然地理学や生態学などの知見やフレームワーク)が従来から重要視されてきたが、それらのプログラムとともに、人文・社会科学的なプログラム(人文地理学や地域計画、環境経済学、政策など)も重要であることがわかった。加えて、自然科学的なプログラムと人文・社会科学的なプログラムを繋ぐプログラム(フィールドワークやインターンシップ、あるいはプロジェクト・ベースト・ラーニング)が重要であることもわかった。結果として、本研究は自然環境の保全・保護と適正利用に関する資格認定プログラムを1つのシステムと捉え、そのシステムがさまざまな自然科学的、および人文・社会科学的手法を要素にしてバランス良く構築されると考えた。つまり、個々の要素となる手法や知識を相互に関連し合うように組み合わせ、全体のまとまりとしてのシステムを構築し、それによって体系的で効果的な資格認定プログラムを開発することができた。また、資格認定プログラムにおける個々の要素をつなぐ繋ぎ手として野外実習を資格認定プログラムに効果的に組み入れる方法も開発され、開発されたプログラムは東京都のECO-TOPプログラムの制度設計の基礎となり、首都大学東京で行う認定プログラムにもなった。具体的には、このECO-TOPプログラムは平成19年度のサポートレンジャー養成講座と自然ツーリズム学Ⅰ・Ⅱの授業の試みを踏まえて、平成20年度から首都大学東京大学院観光科学専修と都市環境学部自然・文化ツーリズムコースで実施されることになった。</p>	
学会発表 (発表題目、発表大会名、年月を記入)	
<p>菊地俊夫 2007. 横浜市青葉区寺家町における谷戸・里山の保全—大都市近郊農村におけるルーラリティの再編. 日本景観生態学会, 福岡産業大学. 菊地俊夫 2007. 地域資源や環境を活かした地域づくり—地域ブランド化と観光化をめざして, 「観光化による地域活性化・地域ブランド化戦略会議」, 群馬県商工連合会.</p>	
論文発表又は著書発行 (発表題目、著者、発表誌又は出版社、年月を記入)	

平成19年度 傾斜的研究費 (特定) (全学分) (戦略分・公募分) 研究報告書

- Kikuchi, T., Obara, N. and Kishimoto, S. 2007. The Sustainable development of suburban dairy farming: Recreating rurality on the outer fringe of the Tokyo metropolis. *Progress in Sustainable Rural Development*, 107-114.
- Kikuchi, T. 2007. Sustainability of rural space in outer urban fringe of Tokyo metropolitan area: Spirituality and holiness of the Totoro forest. In Bryant, C. R. et al, *Quality Agriculture: Historical Heritage and Environmental Resources for the Integrated Development of Territory*, FAO, Genova, Italy.
- 菊地俊夫編著 2007. 『川からひろがる世界—川の流れに刻まれた生活・自然・文化』二宮書店, 192p.
- 山本正三・菊地俊夫他共訳, C.R. ブライアント・T.R.R. ジョンストン著 2007. 『都市近郊地域における農業—その持続性の理論と計画』農林統計協会, 298p.
- 菊地俊夫 2007. グローバル化と日本の文化景観. 矢ヶ崎典隆他編『地誌学概論』朝倉書店, 31-35.
- 菊地俊夫編著 2008. 『観光を学ぶ—楽しむことからはじまる観光学』二宮書店, 206p.
- 桜井昌紀・小原規宏・菊地俊夫 2008. 東京都の国分寺崖線における緑地環境の保全とその適正利用について—保全主体間の関係性を中心に—. *観光科学*, 1, 33-50.